＞総経理インタビュー



外食産業市場規模4兆元とも言われる巨大マーケット中国大陸に進出したくら寿司。アルバイト時代から一貫してくら寿司で勤務を続け、海外ビジネス経験も豊富な総経理の近藤様に進出の背景や今後の展望について聞いてみた。

上海藏寿餐饮管理有限公司

総経理: **近藤和人**



「安心・美味しい・安い」コンセプトを中国で展開。10年間で100店舗展開を目指す“くら寿司”

① 中国進出の背景について教えて頂けますか？

実は、海外進出については、かなり前から議論をしていました。理由は日本の外食産業は将来的な人口減、原材料やエネルギーを中心とした原価の高騰もあり、大きな成長が望めないからです。永続的な成長のためには海外への出店拡大が不可欠だということで2009年に米国、2014年に台湾で出店をしました。そしてグループの更なる成長のために今回中国へ進出することになりました。中国はマーケットが非常に大きい、海外食が受け入れられやすいとう土壌がある、原材料仕入の物流も整備されてきたということで我々に勝機があると考えました。

② どんな部分が貴社の強みになりますか？

まずは30年を超える回転寿司ビジネスのノウハウがあること、確立された商品管理モデルを持っている、あとは皿カウンター水回収システムを使うことで参加できる“ビッくらポン!”でしょうか。このビッくらポン!のシステムは技術面や初期投資の問題もあって他社にはなかなか真似できない部分です。中国においてもこのシステムは強みになると感じています。また中国においては刺身、温かいサイドメニュー、どんぶりなど現地のニーズに合わせた商品を増やしていきたいと考えています。

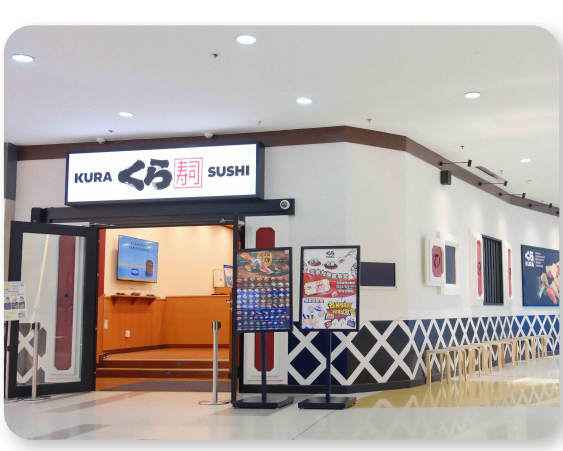


③ 中国の人材についてはどのような印象をお持ちですか？

優秀な方が多いなと感じています。今回の出店は上海からスタートしました。その理由の一つとして人が集まる上海でまずは強い組織を作りたいということがあります。実際に一緒に仕事をしてみて“自分の意見を持っている”方が多いと感じています。例えば、店舗に貼られている案内資料のいくつかは現地社員のアイデアから始まったものがあったりと、店を良くするための意見を出してくれています。私としても受け身な人ではなく、まだ始まったばかりのこの環境の中で積極的に働くことのできる人を探しているのでこういった方々にどんどん当社に加入してもらいたいです。

④ ストックオプションを付与して社員のモチベーションを高め、強い組織を作っているという話も聞きました。

はい。弊社海外事業は米国、台湾においてもそれぞれ上場しています。上場というと会社が儲けるためのものと聞こえるかもしれませんが当社は違います。それは上場することでストックオプションを付与し社員に利益を還元する仕組みを作りたいからです。当社中国では10年で100店舗オープンという目標を掲げていますが、それと同時に将来的な上場も視野に入れて進めていく予定です。



⑤ 近藤総経理ご自身はアルバイトから一貫してくら寿司で働いていると聞きました。くら寿司で働き続けている理由について教えてください。

新しいことに挑戦できる土壌がある、人の縁、社長の理念に共感しているといったところですかね。アルバイト時代に正社員にならないかと誘ってくれた当時の店長、アメリカ進出の際に一緒にやらないかと声をかけてくれた当時の上司、いろんな人の縁に恵まれたこともあり様々な挑戦を当社で出来たと思っています。

⑥ 社長の理念に共感したとありますが具体的にはどんな部分ですか？

例えば社長は良く“見えないところを大切にしなさい”と言います。弊社の事業において商品や人と接する上でとても大事な考え方だと思っています。人と物を大切にする方が当社で活躍しています。

⑦ 商品でいうと近藤総経理自身も寿司の品質を厳しくチェックしていると聞きました。

はい。味の品質もそうですが、栄養価を保証するために新鮮な食材を使用しています。お客様に本当に良いものを提供したいという思いがあるからです。また“自分の食べたくないものは提供しない”という気持ちも強く持っているので自分自身が納得しない限りはお客様に商品を提供することはありません。








⑧ 最後に読者の皆様にメッセージをお願いします。

社員にもいつも言っていますが、我々の目的は中国で店舗をオープンすることではなく中国のお客様に満足してもらうことです。そういった意味では我々の仕事はまだ始まったばかりです。当社のサービス・店に満足してもらうことに注力したいと思います。

～～取材を終えて～～

商品・サービスについてとても強いこだわりを持っている企業だと感じた。それは社長から脈々と引き継がれている企業のDNAが生み出したものなのかもしれない。近藤総経理も自社の理念をとても大事にして仕事をされている方だと感じた。強い組織を作る上で必須となる理念を強く持つくら寿司の今後の発展がとても楽しみだ。

—— PERSOLKELLY China　総経理　喜島孝広